

平成 25 年度中間決算の概要について

〔平成 25 年 12 月 19 日〕
一般社団法人 第二地方銀行協会

会員行の平成 25 年度中間決算（単体）の概要は以下のとおり。

（注）計数は平成 25 年 9 月末時点の会員行 41 行ベース（特記ある場合を除く）。

1. 損益概況（業務純益：1,670 億円、経常利益：1,509 億円、中間純利益：1,060 億円）

平成 25 年度中間決算の業務純益は、預貸金利鞘の縮小、国債等債券関係損益等の減少により、1,670 億円と前年同期比△160 億円、△8.7%の減益となった。

経常利益は、株式等関係損益の大幅な黒字化、個別貸倒引当金繰入額の減少により、1,509 億円と同+547 億円、+56.9%の増益となった。

中間純利益は、経常利益の増益を受け、1,060 億円と同+363 億円、+52.1%の増益となった。

2. 業務純益の状況

(1) 資金利益（4,515 億円、前年同期比+21 億円、+0.5%）

資金利益は、横ばいとなった。

この内訳をみると、預貸金収支は、貸出金残高（平残）は増加したものの、預貸金利鞘の縮小により、同△145億円、△3.9%減少して3,586億円となった。

一方、有価証券利息配当金は、同+149 億円、+18.5%増加して、954 億円となった。

(2) 役務取引等利益（373 億円、前年同期比+56 億円、+17.7%）

役務取引等利益は、保険窓販業務手数料が減少したものの、投信窓販業務手数料が増加したことにより、前年同期比+56 億円、+17.7%増益の 373 億円となった。

(3) その他業務利益（286 億円、前年同期比△158 億円、△35.6%）

その他業務利益は、国債等債券売買損益の減少等を主因に、前年同期比△158 億円、△35.6%減益の 286 億円となった。

(4) 経費（3,572 億円、前年同期比△7 億円、△0.2%）

経費は、3,572 億円と前年同期比△7 億円、△0.2%の減少となった。

3. 経常利益および中間純利益の状況

経常利益は、株式等関係損益の黒字化、個別貸倒引当金繰入額の減少により、1,509億円と前年同期比+547億円、+56.9%の増益となった。

中間純利益は、経常利益の増益を受けて、1,060億円と同+363億円、+52.1%の増益となった。

4. 不良債権処理（与信関係費用）の状況

不良債権処理額（与信関係費用）は、個別貸倒引当金繰入額の減少により287億円と前年同期比△29億円、△9.2%の減少となった。

また、金融再生法開示債権（破産更生等債権、危険債権、要管理債権）は、債務者区分のランクアップ等により破産更生等債権、危険債権、要管理債権がいずれも減少したことにより、前年度末比△944億円、△5.5%減少して1兆6,264億円となった。開示債権比率は同△0.21%ポイント低下して3.55%となった。

5. 単体自己資本比率[国内基準40行]（自己資本比率：10.38%、Tier I比率：8.45%）

単体自己資本比率は、中間純利益による利益剰余金の積み上げがあったものの、劣後債務の返済等により、自己資本額は横ばいとなった。一方、リスク・アセットが増加したため、自己資本比率は、10.38%と前年度末比△0.03%ポイント低下した。

一方、Tier I比率は、同+0.06%ポイント上昇し、8.45%となった。

6. 預金および貸出金（末残）

(1) 預金（60兆8,563億円）

預金（末残）は、前年同期末比+1兆4,481億円、+2.4%増加して60兆8,563億円となった。預金者別にみると、要求払預金を中心に一般法人預金および個人預金はともに増加した。

(2) 貸出金（45兆2,810億円）

貸出金（末残）は、前年同期末比+8,398億円、+1.9%増加して、45兆2,810億円となった。

以 上